



年 組 名前

道新でワークシート

小樽市長橋地区の長和町会が7日、恒例のもちつき大会を長和会館（長橋3）で開いた。子どもから大人まで約50人が参加し、つきたてのもちを味わいながら地域の交流を深めた。

師走点描

2025

おもちぺったん力いっぱい 小樽で恒例行事



鈴木会長(右)の手を借りてもちつきに挑戦する子ども

40年以上続く行事で、この日は12きのもち米を用意した。蒸し上がったもち米が臼に移された後、子どもたちが鈴木四郎会長(77)や保護者の手を借りながら、順番に挑戦。「よいしょ」の掛け声に合わせて、力いっぱいきねでもちをついた。つき上がったもちであんこを包み、参加者で味

わった。長橋小3年のAさん(8)は「つきたてはおいしい。来年は習い事のバレーボールを頑張りたい」と笑顔を見せた。

鈴木会長は「一年を締めくくる大事な行事。この伝統行事を子どもたちに伝え続けたい」と話した。

(和田樹)

2025年12月8日(月) 朝刊 小樽・後志版 13ページ (記事は再編集しています)

(1) もちつき大会では、だれがどのような道具でもちをつきましたか。

(2) このもちつき大会は、40年以上続いています。
どうして長く続いているのでしょうか。